

Forest 通信

vol. 132

森林インストラクター東京会 会報

2021年4月10日発行

特集 総会報告

(目次)
FIT総会議事録
役員就任・退任挨拶
部会報告は 131号を参照ください
各種活動報告は廃止しました(各部会・グループのHPを参照ください)
木の日研修報告と木の日研修今後の予定は同様に研修部会HPを参照ください
私の好きなフィールドは廃止しました 今後はFIT HPに掲載予定です
新入会員からのメッセージ
事務局日より

2021年度（令和03年度）FIT総会議事録

日時：2021年（令和03年）3月13日（土）13:00～14:30

場所：林友ビル6F会議室

出席：26名

議事

1. 定足数

出席26名、委任180名。3月13日現在の会員数346名であり、会則に定める定足数を満たし、総会成立。

2. 会長挨拶

昨年の総会では、新型コロナウイルス対応として、時間短縮のため会長挨拶は省略することになりました。今年は、2点申し上げます。

1点目は、新型コロナ感染防止の件。今でも「緊急事態宣言」下にあります。先行きは、不透明。政府が「緊急事態宣言」を解除すれば、FIT内の活動自粛も解除しますが、感染の環境は悪いままです。変異ウィルスも増えており、予断は許されません。このようは状況下、今まで以上に安全に注意を払って、FITメンバーおよび参加されるお客さまより一人の感染者も出さないように、十分に配慮した活動をして頂きたく宜しくお願いします。

2点目は、広報部会の件。ホームページ(HP)以外に関しても、数年前から広報部会は考え方

を変えた方がよいとの意見が出ていました。昨年6月に新しい広報部会の在り方を検討するプロジェクトチームを立ち上げ、ほぼ目処が付きました。HPに関しては、後ほど新しいHPのデモンストレーションを実施します。広報部会員の手当に関しては、それまでの時間給を役割給に変更します。FOREST通信を年6回から3回にします。結果、予算が大幅に削減されました。これは、新しい広報部会員のみなならず、これまで広報部会の活動を支えてきた皆様の努力の賜物です。

新HPの立ち上がりは4月1日の予定。質問等があれば、プロジェクトチームにぶつけて、より良いものにしていただきます。

新しい執行部は、新方針をしっかりと作って、新しい年度に向けて力強くスタートしてください。

3. 議長選出

30年の安久正敏さんを指名。(拍手で賛同を得る)

4. 2020年度活動報告

福田事務局長

(1) 昨年度の総会では2020年度の活動方針として①知名度アップ活動、②活動資金助成制度の活用促進、③活動参加者のすそ野拡大策の推進を掲げました。

しかしながら新型コロナウイルス感染症が昨年1月16日に日本で初めて発症が報告されて以来、未だに終息の見通しが立っておらず、二回目の「緊急事態宣言」が発出され現在に至っています。そのため、FITとして令和2年3月から活動自粛となり、その後4月7日の政府による第一回目の緊急事態宣言が発出、5月25日宣言の解除となりました。そして令和3年1月7日の第二回目の緊急事態宣言が発出され、FITの活動としては、令和2年6月～12月の7ヶ月間のみとなってしまいました。また6月、7月、8月の夏季は、天候不順と、密を避けてマスク着用での活動に不向きなため、多くのイベントが自粛となりました。

①、②については知名度アップの一環として平成28年度から実施している「山の日」制定記念高尾山まるごとグリーンクリーン作戦を中止。クラフト出店していた“日比谷公園 みどりのフェスティバル”および“すみだ祭り”等が開催中止となっており、活動資金の利用はありませんでした。③については、より多くの会員が活動に参加できるための会員のスキルデータに新入会者のアンケート結果を反映し、継続的に会員全員が把握できるように、FITホームページ会員限定ページに掲載しました。またFIT登録グループを実状に合わせて活動の内容、メンバーの見直しを継続的に実施、FITホームページに掲載しました。その他会報の一般への閲覧をFITホームページ上で、継続して実施しました。

各部会、各グループの活動は、密を避けるため、1班の人数を絞る等またお客様の自粛もあり、2020年12月現在、CONE保険利用者数は、会員481名、一般1190名、イベント数79件(月平均約11件@7ヶ月)となっています。(昨年度:会員約1,118名、一般約2,647名、イベント数163件(月平均14件@10ヶ月))。各部会活動についてはそれぞれの報告に委ねます。以上のように、2020年度は、予定した活動ができなかったこともあり、活動方針に対して十分な成果が得られず2021年度に引き継いでいきたいです。

(2)新ホームページについて(「未来のホームページプロジェクト」報告)

6月「森の日」でプロジェクトチームを立ち上げ、12月「森の日」でプロジェクトチームからの提案を了承しました。

ー 昨年の総会において、「他県の広報に対して経費に差がありすぎるのではないか」という指摘があり、他県の実情調査等を実施してきました。昨年6月には「未来のホームページのあり方」ということでプロジェクトチーム(女性を含む合格期をまたがる5名で構成)を立ち上げ、「森の日」議事録で報告の通りワークを進めてきました。

プロジェクトチームでのワークがほぼ固まり、新HPへの移行が可能な段階になりましたので下記の通り連絡します。

1) 導入時期

2021年4月1日稼働開始(予定)

※新FITHPでは今後原則として西暦を使用します。

2) 基本的な方針

①HPの主要な役割である「外部・一般のお客様が閲覧して役立つ、魅力あるものにする」、同時に「会員間の情報交換の手段として活用する」をコンセプトとします。特別なスキルを必要としないHPシステム“JIMDO”を導入し、個々の会員が誰でも扱え、また今後のより良い改善を容易にします。

②広報部会員の負担を軽減し、他部会と同様に現在の時間給(出来高給)から役割給とすることにより、結果として広報部会活動にかかる経費の低減を図ります。

5. 2020年度収支決算報告

藤岡会計

収入1,751,001円、支出1,217,512円。当期収支533,489円の黒字となり、次年度繰越金は2,492,453円。また特別会計(活動助成金)については、新型コロナの関連で対象イベントが全て中止となった為、実績ゼロ。結果、1,140,402円を令和03年度(2021年度)に繰り越します。

6. 監査報告

飯塚監査

適正処理を確認

(質疑・応答)

特になし

7. 4～6の採決

拍手を以て承認

8. 令和03年度(2021年度)運営体制

会長	斉藤 幸雄 (14年)	留任
副会長	高橋 喜蔵 (04年)	留任
事務局長	藤岡 眞 (28年)	★新任
会計	横井 行男 (29年)	★新任
監査	飯塚 義則 (29年)	留任
広報部会長	宮崎 健 (22年)	★新任
安全部会長	入江 克昌 (27年)	留任
事業部会長	長谷川 守 (24年)	★新任
研修部会長	高橋 喜蔵 (04年)	留任
友の会運営部会長	芝原 久 (30年)	★新任

前事務局長	福田 正男 (24年)	退任
前事業部会長	瀬川 真治 (21年)	退任
前会計	藤岡 眞 (28年)	退任
前広報部会長	田川 裕則 (25年)	退任
前友の会運営部会長	槇田 幹夫 (25年)	退任

9. 8の採決

拍手を以て承認

10. 退任役員・部会長挨拶

暫時休憩後、新任役員・部会長挨拶のあと審議再開

(役員就任・退任挨拶は、次号会報に掲載される予定)

11. 令和03年度(2021年度)活動方針

藤岡事務局長

2020年度は、新任の会長、副会長、事務局長、事業部会長体制の3年目でした。残念ながら年度初めより新型コロナウイルス感染症により、自粛要請等により予定していた活動が実施できなかった1年でした。2021年度もコロナ禍の終息が見えない中、お客様および会員の安全第一での活動を前提として、引き続き次の3点を重点的に推し進めます。①知名度アップ活動、②活動資金助成制度の活用促進、③活動参加者のすそ野拡大策の推進です。

①については、現在あるイベントを着実にマンネリ化せず継続実行。FIT腕章および名札の着用によるアピール。ホームページについては継続してイベント募集をより集客を目的に一般閲覧者にアピールする配置、構成の検討を進めていきます。

②については、対外的かつ社会貢献活動はもちろんのこと、FIT会員がより多くイベントに参加できるよう対内的な活動に適用し、活用促進を図ります。

③については、新作されたヘッド画面のホームページを活用し、FITの実施可能なイベントを閲覧者にわかり易く伝える工夫をすること、そして事業部会で実施中のイベントへの体験参加等を継続していきます。

新規受託案件については、事業部会および事務局で連携して推進していますが、受け皿となる会員に偏りがあり、一部に過大な負担をかけています。活動のきっかけを持たない会員を呼込む方策の知恵出しを継続していきます。そして多くの会員が楽しめる東京会にしていきます。

12. 各部会活動報告、年次計画

各部会から2020年度活動報告と令和03年度(2021年度)運営計画が報告されました。(内容は会報131号参照方)

(質疑・応答)

・Q1:友の会の説明の中で、友の会の活動(講座等)にFIT会員も参加をできるようにするという考えは、良いと思います。具体的に、募集の仕方、参加費用はどうするのですか?(小勝眞佐枝)

・A1:現在、友の会スタッフで検討中です。(芝原友の会運営部会長)

・Q2:「木の日研修」は、2020年度からリモートでの実施を開始し、参加者が増えたのは良かったと思います。2021年度はすべてリモートとするとの説明ですが、もしコロナが終息した場合には、会場での開催とリモートを同時に開催することを検討して欲しいのですが如何でしょうか。(鍛冶健二郎)

A2:技術的な問題(リモートが可能な会場の確保)と費用の問題(会場費用を会場で参加するメンバーだけの負担で良いのか等)が想定されます。研修部会および担当幹事の負担も大きくなります。知恵を出し合って、解決策がみつければ実施を検討します。(高橋研修部会長)

13. 11～12の採決

拍手を以て承認

14. 令和03年度(2021年度)収支予算

横井会計

収入1,859,341円(内会員1,740,000円、友の会135,000円、他に振替手数料、金利)、支出1,420,415円(内交通通信経費380,000円、一般経費1,040,415円)。当期収支は(収入-支出)で+438,926円となるが、2020年度決算繰越金(一般会計)より1,000,000円を取り崩し特別会計に繰入したので、当期収支は、△561,074円。

特別会計(活動助成金)の2021年度年初残金は、上記1,000,000円が増額となり、2,140,402円。

(質疑・応答)

Q1(参考意見):広報部会の予算ですが、各担当部員手当が年間8,000円/人で設定されています。自分は所属グループのHPを担当していますが、毎日アクセスしていて、作業量はかなり多い。課金も暫定ではありますが年間24,000円ほどとなっています。広報部会の各担当部員手当が少な過ぎてかわいそうな気がします。(稲葉力)

15. 14の採決

拍手を以て承認

16. 議長解任

17. 閉会(14:30)

尚、総会終了後、同会場にて30分ほど、新広報部会により、作成中の新HPを画面に投影してのデモンストレーションおよび質疑応答が行われました。新HPの使い方や構成に関する質疑応答の他に、新広報部会の組織、役割分担の開示が求められました。

決まり次第、新広報部会より連絡されます。(決まりましたので次のページに掲載)

2021年4月1日からの広報部会HP関連担当表

区分	担当項目	担当者	概要
継続	イベント情報	有村 英信	実施日・締切日・タイトル(URL)・概要(C&P)
継続	森づくり	清水 好博	
継続	自然発見	宮崎 健	高尾山巡回日誌(C&P)・森遊倶楽部情報(C&P)・自然情報(C&P)
継続	会員のページⅠ	鍛治 健二郎	ファイル交換システム ML添付の代用『新』会員のページに移行までの期間限定
継続	会員のページⅡ	鍛治 健二郎	内部公式書類保存(総会議事録・会計報告書等)どの書類を保存するか事務局で検討(やみくもに保存は無駄)
新規	「新」会員のページ	清水 好博	個人情報を含むデータは保存不可
継続	友の会	清水 好博	URL 部会 HP 作業支援
新規	事業部会	清水 好博	URL 部会 HP 作業支援
新規	研修部会	清水 好博	URL 部会 HP 作業支援
新規	我々の活動	宮崎 健	URL 最初のフォーマットのみ
新規	HP全体の調整監督	小野 梨香	HP内不適切なコンテンツ牽制 改善助言
新規	サーバー契約更新	鍛治 健二郎	延長手続きと継続料金の支払い
継続	フォレスト通信	宮崎 健	投稿依頼は個々の担当者にメールで直接依頼する
流動的	活動報告	有村 英信	イベント情報ナビボタン下に実施報告ボタン設置して報告文(URL)イベント情報実施日経過分を活動報告表に移動させる
流動的	会員紹介	有村 英信	近いうちに千葉インストラクター方式に変更見込み
廃止	地域活動	不要	FIT杉並会しか無いので「我々の活動」に移管

役員就任・退任挨拶

<事務局長>

就任の挨拶

藤岡 眞

新年度より、前任の福田さんから引継ぎ、事務局長を仰せつかりました藤岡眞です。平成28年合格であり、昨年末で森林インストラクターになって4年が経過しました。たかだか4年、まだまだ修行中の身ではありますが、このような大役を仰せつかり、身の引き締まる思いであります。

FITに入会したお陰で、見識溢れる方々にお会いすることができ、多くの経験をさせていただきました。それまで、気が付いていなかった自然の豊かさ、面白さ、大切さも知ることができました。昨年度は、新型コロナの影響で、思うような活動ができず忸怩たるものがあり、今年もまだコロナ禍は終息しておらず、引き続き慎重な行動が求められております。このような状況の中にあっても、

FITの活動そのものは、社会的にも価値のあるものだと私自身確信しております。極力皆様方の活動が円滑に行えるように、事務局として最善を尽くしていく所存であります。基本的な活動方針は、斎藤会長、福田前事務局長の路線を踏襲して参りますが、新しい仲間も毎年入って来ますし、新しい時代にふさわしい活発な活動を実現するべく、皆様方の知恵を拝借しながら進めて参りますので、ご指導、ご支援のほど宜しくお願い申し上げます。

退任のあいさつ

福田 正男

会員みなさま、3年間お世話になりありがとうございました。みなさまのご協力で大きな事故・事件もなく事務局の大役をこなせることができました。特に外部案件では、事業部会長の瀬川さんをはじめ事業部会員みなさまに多大なご協力を頂き、多くの案件を実行することができ、感謝しています。また4月より導入された新ホームページでは短期間で立ち上げに尽力を注いで頂いたプロジェクトチームメンバーに感謝いたします。

これからは、一会員としてFITの活動に参加、協力をしていきます。最後になりますが、会員みなさまには、新事務局長にこれまで以上のご協力、ご支援をお願い致します。

<会計>

就任の挨拶

横井 行男

この度、FITの会計を前任の藤岡眞さんから引き継いで、担当することになりました横井行男(平成29年)と申します。FITに入会して3年経ち、今年1月に“FIT新年会“の開催を準備してまいりましたが、コロナ禍により”新年観察会“”新年懇親会“が開催できず、3年目を終えることになってしまいました。先輩方が作り上げてきた、FIT入会后3年間にFITのイロハを勉強させてもらえる期間を作ってください感謝申し上げます。



会計の大役を引き受けるにあたり、正確で、皆様によりわかりやすい明瞭性に心がけてまいります。また、FITの社会貢献活動にご尽力されておられる皆様方の活動に少しでもお役に立つよう迅速に対応してまいりたいと思っております。斎藤会長、藤岡事務局長を補佐し、FITの発展に微力ながら努力してまいります。今後のご指導の程、よろしくお願いいたします。

退任の挨拶

藤岡 眞

会計を2年間勤めて参りましたが、この度退任することになりました。会計の主な仕事は、運営部会等の決算と予算を取りまとめること、会員の皆様より会費を納入して頂いて、運営部会の予算に従って分配することに尽きる訳で、それほど複雑な業務ではありません。それでも、お金の管理は間違いがあってはなりませんし、皆様のご協力がないとうまく回りません。しかも、ゆうちょ銀行のシステムが刷新されたこともあって、新システムに慣れるのに結構苦労しました。

改めまして、ご協力頂きました皆様にお礼を申し上げます。

< 広報部会 >

就任の挨拶

宮崎 健

新年度より、前任の田川さんの後任として広報部会長を担当することになった宮崎健（H22年ふたば会）です。開始時期はバックナンバーから2005年頃からと推測しますが（IT環境が整わぬ時期から）長い間に渡りFITホームページ（HP）を立ち上げ維持されてきた諸先輩に敬意を表します。現在ではHP用のソフトが格段に進歩したことにより特殊な技能が不要となり「低コスト・シンプル・顧客指向」のホームページを目指して新しいFIT HPを立ち上げます。皆様のご支援を頂かないと維持運営が困難ですのでよろしくお願い致します。

これまでは重複する作業が多々あったので可能な限り最初に担当した方が作られるデータ（原稿や写真等）を活かして使い回すことで皆さんが作業効率を高め、より良いボランティア活動に資することを広報部会の使命と考えておりますのでよろしくお願い致します。

退任の挨拶

田川 裕則

3月31日。桜は満開です。3月13日の総会で3年間担当した広報部会長を退任しました。FITでの活動はギブ&テイクといっても、そのバランスは難しいものです。

広報部会長として、森林インストラクターの知名度アップや資質向上を図ってきましたが、担当した当初に考えたことが半分もできなかったと思います。

今後は、新たな広報部会が新しい風を起こすことを期待します。3年間支えてくださったFIT会員の皆様ありがとうございました。これからは普通会员に戻ってFITの活動に参加してまいります。

< 事業部会 >

就任の挨拶

長谷川 守

この度、事業部会を担当する事になりました長谷川 守（24年）です。前任者の瀬川さんを初め歴代の事業部会長の実績・安定性を引き継ぐ事は大変な重荷ではありますが、FIT入会以来今日まで大変多くの会員方々にご指導を頂きましたので、これが人生最後のご奉仕と思って努力したいと思えます。

事業部会の担当案件は多岐に渡っていますが、参加した皆様（会員、お客様共に）に“参加して良かった、楽しかった。次回も参加したい。”という満足感を味わって頂けるような運営を心掛けたいと思えます。会員の経験・観察会スキルは様々ですが、調和を図りながらお互いに知識・知見が深まっていく事を望んでいます。事業部会スタッフとして多くの会員に運営を担って頂き、これまでと同様に信頼され、加えて“見通しの良い”事業部会でありたいと思っています。会員の皆様のご協力・ご支援をよろしくお願い致します。

退任の挨拶

瀬川 真治

FIT組織の中で事業部会の大きな役割は、「FIT会員の活躍する場」を広く提供することと認識し取り組みました。2つの柱を意識しました。一番目は「森林ふれあい推進事業」等の諸先輩が構築し既に取り組んでいる案件を確実に実施することでした。二番目は事務局との連携を密に行い増加している外部案件に積極的に取り組むことでした。外部案件については既に取り組んでいる継

続案件と新規の案件があります。ひとりでも多くの皆さまが各種のイベントへ参加できるように部会運営を「見える化」し、よりオープンな形での情報発信に努めました。

担当した3年間を振り返って、「多少は前に進めたかな！」という感じです。特に2020年度は新型コロナウイルスの感染拡大により、準備したにも拘らず多くのイベントが中止になりました。主幹事の皆さまには「催行是非」の判断等でも大変なご苦勞をされたと思います。一日も早くコロナ禍が終息し、マスク無しで行動できることを切に願います。

事業部会の皆さまを始め沢山の皆さまにご協力を頂きました。この場を借りてお礼を申し上げます。ありがとうございました。

<友の会>

就任の挨拶

芝原 久

30年(みわの会)芝原です。今年度より「FIT友の会」運営部会長を務めさせていただきます。榎田:前部会長には、コロナ禍の「FIT友の会」運営の並びに、FIT内の「FIT友の会」組織・運営の整備・確立に長らくご尽力いただき、誠にありがとうございました。以前同様、皆さまのご指導・ご支援・ご協力どうぞ宜しくお願いいたします。この場をお借りして、友の会に関わりありました諸先輩方・関心のあります方からのお話・連絡・色々ありますこと期待しております。

今年度も変わらず「FIT友の会」の「資格取得支援・入会者拡大」、「FITの活動を担う人材の育成」、「知識・楽しい場所づくり」、「FIT会員の教育できる場所」をふくめ務めて参ります、どうぞよろしくお願い申し上げます。

退任の挨拶

榎田 幹夫

2015年から6年間、FIT友の会運営部会長を担当しました。講師や運営スタッフとしてFIT会員の皆様のご協力を頂き運営できました。有難うございます。

FIT友の会には2013年に入会し森林インストラクターの資格を取得しました。当時は18時～20時まで座学主体の受験対策講座でした。高尾山での森林実習、井の頭公園での野外ゲームの実習が印象に残り「養成講習テキスト」の内容を理解する上で大変役立ちました。

2014年末それまでFIT友の会運営部会長を務めていた佐野さんが転勤で東京を離れることになり、急遽運営部会長を引き継ぎました。自分が会員の時の経験を踏まえて、FIT友の会会員が森林インストラクターの資格取得するためには、どのような形で支援するのが良いか考え「資格取得支援講座」として、4科目について、半日はテキストに沿った講義と演習の座学、半日はテキストの内容を理解するのに役立つ野外実習のプログラムとしました。

資格取得支援だけでなく、資格取得後に役立つように「野外活動実習」として、高尾山親子自然観察会のリハーサルに参加し、資格取得後に自分たちで運営を担当する親子観察会の様子を見学体験する機会を作りました。また二次試験の実技に役立つように、5分間での植物解説の実習を含む「自然観察」基礎研修を企画実施しました。

講座の講師や運営スタッフのご協力で、沢山のFIT友の会会員が森林インストラクターの資格を取得し、同期入会したメンバーの代表として、またFIT役員として活躍されている姿をみると大変嬉しい限りです。FIT及びFIT友の会、今後の益々の発展を祈ります。

新入会員（ニレの会）からのメッセージ

丸山 英二

2014年、高尾山登頂の際に森林インストラクターの腕章をした方々が登山客の皆さんに説明をされながら歩いているところに遭遇しました。その姿に憧れを感じ、その夏の講習会に参加して森林インストラクターを目指しました。しかし仕事と試験勉強との両立が伴わず、念願の合格通知を手にすることができたのが2020年。健康のために高尾山の頂上を目指して歩いていただけの私でしたが、四季折々の高尾山や自然の移り変わりをもっと知りたい、そして観光に訪れる方々に自然の持つ美しさを伝えたいというモチベーションは萎えることはなく、あきらめずに本当に良かったと思います。また、地球温暖化による異常気象が頻発する昨今、次世代の若い人たちが災害のない安心安全な環境で生活していけるように、「地球をまもる」ことを勝手ながら自分の使命として実現するために、楽しみながら皆様と活動して行きたいと思います。

葛西 宗紀

訳があって会社が嫌になった。調子を崩し、退職も考えた。会社という狭い世界に依存して生きる危うさにやっと気づいた。健康寿命といわれている75歳までをエンジョイするため(できればその後も・・)、今後の5年間をキャリアチェンジの助走期間に設定し、知識の蓄積(学び)と人脈形成(コミュニティ)を軸として、さまざまな経験を積むことにした。大好きな登山やキャンプを中心とする野外活動を、単なる趣味から、社会教育や社会福祉にリンクさせていく挑戦がその一つである。特に子どもやお年寄りが、野外活動を通じて自然のパワーを感じ、「明日が待ち遠しい！」と元気よくイキイキと生活できるような取り組みをしてみたい。「森林」に関する「学び」と「コミュニティ」については、FITで様々な活動に参加することで十分に達成できそうだと感じている。仲間を作り、先輩から教わりながら目標にアプローチしていきたい。

森 正

5年前に定年退職した後、あるきっかけで雑木林の保全活動にボランティアとして参加する機会に恵まれたことが、森林インストラクター資格を取得できた遠因だったと改めて感じます。都内には東京都指定の5種類(自然環境、森林環境、里山、歴史環境、緑地)の保全地域が計50か所ありますが、私は日野市と八王子市にある緑地保全地域2か所の保全に携わっています。

今後はFITの諸活動に多く参加させて頂き、より実践的な森林や林業に対する知見・技術を深く学び、子供たちを含む多くの一般の方々に森や林など緑の楽しさや重要性を分かって頂けるように、そして保全活動の場においては森林インストラクターとして、より専門的な知識を発揮することで貢献できるようになりたいと思います。

初心者マークを付けたばかりなので、諸先輩のご指導を頂きながら、努力精進して早く1人前の森林インストラクターになれるように頑張っていきたいと思います。

長谷川 篤

「八王子市在住の長谷川篤と申します。自然の不思議さ・奥深さに魅了され、森林インストラクターを志しました。微力ですが、どうぞよろしくお願いいたします。」

齊藤 裕子

「私の父も森林インストラクターとして、FITに所属し、活動をしておりました。直接、父から話を聞いたことはないのですが、時々会う母から「お父さんはFIT、FITって夢中になっているのよ」とよく聞いていたものです。

遺品の中から、FITの仲間の方たちとの、やり取りらしきものが見つかりました。父は本当に良い仲間恵まれ、大好きな山に係る活動が出来、とても充実した時間を過ごせたことを知り、よかったなあと思いました。そのような活動の場を与えてくださったFITと、お世話になった皆様に、この場を借りまして、お礼を申し上げます。ありがとうございました。

私は資格を取る前から、時々FITのホームページを拝見しており、試験勉強に行き詰っていた昨年夏、たまたま友の会の資格取得支援講座があることを知り、受講し、合格することができました。今思うと、私にも素晴らしい出会いがすでに始まっていたのだと思います。

森林インストラクターを目指したのは、父の遺志を継ぐというような大それたことではなく、初めはただただ、花が好きというところからのスタートです。山に慣れ親しんでいた父の足元にも及びませんが、何か私なりに出来ることから一歩ずつ始めていきたいと思っております。まだまだ未熟者でございますが、皆様のご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

柴田 嘉子

もともと生き物や自然観察が好きで、家族で山や森に出かけることが多く、様々な昆虫やキノコ、鳥、植物などの写真撮影を楽しむようになりました。行くたびに異なる風景や動植物の様子に出会えることに感動して、森林の奥深い世界について更に深く学びたいという気持ちが強くなったのが、受験の動機です。

入会后、Zoomの研修を何度か受けましたが、対面にはないメリットとして、会場往復の時間が不要で、夜でも参加しやすく、貴重な学ぶ機会となっています。また、先日対面で行われたクラブ研修を受講して、周到な準備を行なう開催者側のご苦労についても学ぶことができました。

今後、森林インストラクターとして、親子の体験プログラムや自然観察会などの機会に、色々な方々に感動や知識を伝えられるように研鑽に励みたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

石井 由美子

東京生まれの東京育ち。子供の頃から自然の景物が好きで「好きな言葉」を聞かれると「自然に親しむ」と答えていました。もう一つ好きな言葉は「くちびるに歌を」、合唱団3つ(1つはコロナで活動休止中)に所属しています。

「森林インストラクター」には、それとは知らず自然観察会に参加していた頃から随分お世話になって来ました。諸先輩のお陰で自然界の不思議の数々に触れ、ますます自然への興味を掻き立てられ、自分も資格を取ろうと一念発起、今日に至りました。

これから色々な活動に参加し、多くの人が自然に関心を持つ一助になればと思っています。よろしくよろしくお願いいたします。

篠原 ゆり子

趣味で登山やハイキングに行くほか、仕事としてもハイキングや里山保全活動のコーディネートを担当しています。

山好きなのにあまりに森のことを知らない、と思い、資格を取得しました。いろんな知識を得て体験することで、森の魅力がもっと見えてくるでしょうし、それを周りに伝えられる人になりたい、と思っています。ご指導のほど、よろしくお願いいたします。

田中 清子

子供の頃、知らない草花や樹々を見ては「これは何？」と首を傾げていました。図鑑を見ても周りの大人に尋ねても不明のまま、気がつくと数十年が過ぎていました。20年ほど前から山歩きを始め、丘陵から奥山まで様々な森林に入るようになり、植物の観察会等にも参加するようになって、森林との付き合いは徐々に深まっていきました。そのうち、何とか体系的に植物や土壌を学んでみたい、自分にとって謎が深い林業について基礎的な知識を得たい、より良い森林環境に向けて少しでも貢献したいと考えるようになりました。人づてに森林インストラクター試験の話聞き、そのテキストを見て、この内容を勉強したいと思ったのが受験のきっかけでした。

運よく合格したものの、FIT初心者の上に、今のところその活動に思うように参加できず、五里霧中のままです。同期の方達の後ろから、地道にたゆまず進んでいきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

金森 康夫

このたびFITに入会させていただきました、金森と申します。

ブナが好きで、日本各地のブナ林を訪ね歩いていきます。ブナが演出する季節感は実に豊かで、雪を解かず春の切り明け、新緑、緑鮮やかな初夏、黄金のきらめきを放つ秋とさまざまな表情を見せてくれます。ブナ林を歩いていると心が安らぐのは、多くの方が思いを共有するところでしょう。

関東地方では玉原高原がお勧めなのですが、もう少し足を伸ばして『奥利根水源の森』にどうぞおいで下さい。私の一番のお気に入りです。樹海のようなブナの森が広がっています。機会あれば、経験豊富な先輩方とブナについて語り合えたらと思います。私のホームページに、ブナ林の魅力についてたくさん綴っていますので、ぜひお越しください。<http://alpine.sppd.ne.jp/> よろしく申し上げます。



関口 萌子

私は植物や自然が好きです。これから森林インストラクターの皆さんや自然から沢山学び、自然の面白さや大切さを伝えられる森林インストラクターになれるよう頑張ります！

濱田 明彦

独身時代は北アルプスを中心に、20代後半はアンナプルナとエベレストにトレッキングに行くほど登山にのめりこんでいました。結婚後は登山から離れましたが、2人の子ども達にも自然の豊かさを感じてもらおうと尾瀬には通っていました。

やがて子育ても終了し、50歳半ばを過ぎた頃、この豊かな自然を次世代の多くの子ども達に伝えたいと思い、8年前に「尾瀬認定自然ガイド」のライセンスを取得し、忙しい水芭蕉とニッコウキスゲの咲くシーズンにガイドを手伝うようになりました。そのガイドの中でも尾瀬の魅力を多く伝えてくれた方が森林インストラクターということを知り、資格を取得しようと思うきっかけでした。

高尾山系や奥多摩も東京近郊にも関わらず自然がとても豊かで尾瀬とは違った魅力が沢山詰まっています。これから先輩方のアドバイスを受けながら見聞を広め、多くの子ども達に自然の素晴らしさを伝え、豊かな自然を維持していく力になっていきたいと思っています。

東京都木材産業健康保険組合 室伏 憲治(ムロフシ ケンジ)

森林インストラクター試験を目指そうとした動機は、定年後に何をしようかと考えていたところ、会社の同僚に「森林インストラクターの活動は楽しいよ」との話しを聞き、木材建材系の会社だったので、ほかに会社の先輩方も資格を取っている方も多く、興味を持ちました。

元来、山好きでもあり、折角ですのもっと森林・林業のことを詳しく知ろうと受験しました。

FITに入会してからは、森林ふれあい推進事業、事業部の各グループ活動、外部案件、各研修会、グリーンボランティア活動、森づくり技術講座など、様々な活動があることを知り、自ら参加することで学べる機会が豊富にあることや、組織としても非常にしっかりしていることも知り、今後は非常に楽しみです。「初心忘れるべからず」の気持ちで、FIT事業部から教えられた3年計画で、まずは親子自然観察会の企画・運営などの作業項目を通じて、自らを高めていきたいです。どうぞ宜しくお願いします。



諏訪 知子

世界中がコロナ禍の昨今、日本では簡単に水を使い手洗いすることができる。それを「当然」と思っている人は少なくないだろう。

かつて私は自然環境や森林に対して無関心であったが、森林学習により、日本の国土の7割が森林であり、温暖多雨、急峻な地形により河川が多く、森林の源涵養機能を再認識したことで、今では自由に水を使えることに感謝をしている。また、森林生態系が不思議で興味深く、保全すべきものだと知った。しかし林業に携わる人の高齢化、木材価格の低迷に伴う森林の手入れ不足、放置林さらには植栽苗の獣害など 森林蓄積された山村での仕事は山積している。林業体験をした時、自分の無力さを感じたが、出来ることはしたいという思いは一層強くなった。

関わり方は違っても、森林や環境に対する思いを持つ他の森林インストラクターの方々と共に森林に対して学びを深め、森林に直接関わることで持続可能な環境への取り組みに参加をしていきたい。

菅原 耕

令和2年合格の菅原と申します。子どもの頃から自然が大好きで雑木林や小川で毎日遊んでいました。最近になり、自然に関わる活動に参加したいという思いが再び湧き上がってきて、資格取得にトライしてみようと思い立ちました。多くの時間をかけて取得した資格ですし、たくさんの活動に積極的に参加していきたいです。自然を通した子どもたちへの教育活動に興味があります。まずは高尾山親子自然観察会の成功に全力を注ぎたいと思います。そしてたくさんの活動に参加する中で経験と知識を蓄え、フィールドを案内できる人間になることが目標です。

三井 大造

ニレの会の三井大造です。FITの「友の会」に2年間お世話になりました。講義(研修)と実施研修で非常に参考になりました。お陰様でどうにか森林インストラクター資格試験に幸いさせていただきました。「友の会」で資格試験に合格するのが目的でなく受かったあと何をしたいのか。何をすることが重要です。とのことでした。現在、少しずつFITの中でクラフト等の研修を受けていますが、当然のこととして、諸先輩 方の実績・経験等には遠く及ばこれから年齢を考えず、一生懸命色々なことにチャレンジしていきたいと思っていますのでよろしくお願いいたします。



福山 容子

シロツメクサの花冠。ヤエムグラを丸くしてシャツに付ければ兵隊さんの勲章に。どれも最近、散歩途中に高齢の母から教えてもらった草花を使った遊びだ。またある時には、鉈を上手に使って太い薪をあっという間に細かくしてみせてくれた。

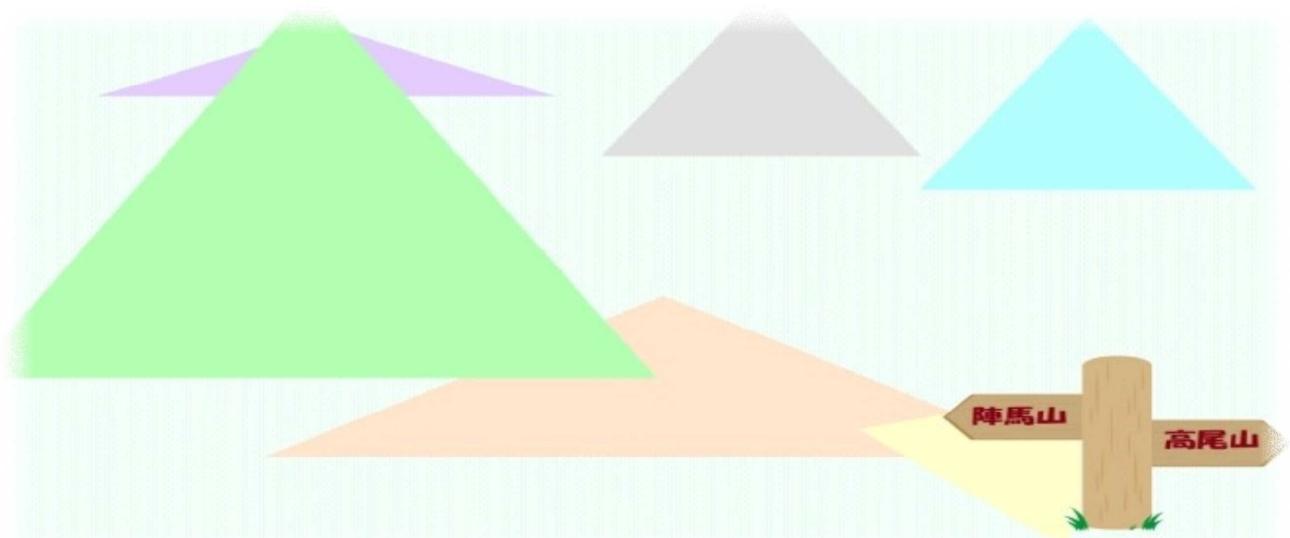
戦争中に幼少期を過ごした母は、私よりずっと野山の知識がある。そんな母に感心すると同時に、自分の森林インストラクターとしての知識や経験がいかに乏しいかを実感している。それでもいくつになっても学ぶのは楽しい。特に自然の世界は驚きと不思議に満ちていて興味は尽きない。今後は野山にもっと出かけ、多くの樹木や植物に触れ、一步ずつ、ゆっくりと学び続けたいと思う。そしていつか自然の魅力や不思議さを多くの人に伝えられるようになればと思う。先輩方、同期の皆さまどうぞ宜しくお願いいたします。

藪田 卓哉

岡山県の南西部、井原市の出身です。大学時代は山岳部に所属し、北アルプスや南アルプスに登っていました。岡山と北海道で少々長めの学生生活を送った後、東京に出て来て今年で28年になります。

4年前に、大田区から自然豊かな八王子市に転居したことで、野鳥や草花などの動植物を身近に感じるが増え、また、時間的にも余裕が出来たことから、自然観察会や探鳥会などに参加するようになりました。動植物に限らず、それらが生息する森林などの自然環境や生態系について、より体系的に勉強したいと思っていたときに、森林インストラクターという資格を知り、取得を目指したという次第です。学生時代に陸水学を専攻しておりましたので、森林内の水の動きなども興味があります。

今後、FITの様々な活動に参加し、知識・経験豊富な諸先輩に学ばせて頂くことを楽しみにしております。御指導の程、どうぞよろしくお願いいたします。



事務局だより

新年度より事務局長を仰せつかりました藤岡眞です。不束者ですが、どうか宜しくお願い致します。

・政府より2021年1月に発出された緊急事態宣言が、3月21日をもって解除されたことに伴い、FITのイベント活動への自粛要請も解除されました。イベントの実施に当たっては、今後も継続して、感染防止対策に十分に配慮してください。

3月13日(土)FIT総会が開催されました。26名の方が出席され令和03年度(2021年度)の活動方針、運営体制などが審議され、提案とおりに承認されました。その内容については、本Forest通信の総会報告を参照願います。なお今総会で事務局、会計、広報部会、事業部会、友の会運営部会の各役員、部会長が退任し、各々新任が承認されました。前役員、部会長の皆様、お疲れ様でした。新任の皆様、よろしくお願い致します。

FITホームページ(HP)が4月1日より刷新されます。総会修了後に作成中HPの新デモンストレーションをしましたが、皆様からのご意見・ご要望等を受けて今後さらなるブラッシュアップが図られています。ご協力を宜しくお願い致します。・フォレスト通信は、広報部会の負担軽減の観点より必要最小限の発行とし、当面、①新人紹介・新年会案内(12月発行)、②総会案内(2月発行)、③総会報告(4月発行)の年3回となります。

・FITでは、会の運営にあたり、原則偶数月第3木曜に開催している「森の日」にて自由な討議をして、運営活動事項を協議実施しています。役員、各部会長のみならずFIT会員はだれでも参加できる会議体ですので、FITのさらなる発展に向け、皆様の積極的な参加を期待しています。

1. お知らせ

(1)名簿改訂

3月末日を目途に更新作業中です。完成次第会員のページに掲載しますので、ご自分の記載事項をご確認いただき、訂正事項があれば事務局あて連絡お願いします。

2. 会員情報

(1) 会員数(令和02年 3月13日現在)

346名

(2) 入会(令和2年度合格者で3月入会)

篠原ゆり子

(3) 退会(含む3月末退会)

11-0804 勝屋裕、27-3860出江俊夫、30-4220笹川信之、13-1241古野博

フォレスト通信Vol.132

発行者 森林インストラクター東京会

編集 広報部会

事務局 藤岡 眞

住所 〒150-0022
東京都渋谷区恵比寿南3-9-23-5
090-1665-4589

メールアドレス: sfujioka0206@yahoo.co.jp